

令和 2年度 県高等学校弓道新人大会（兼）第39回全国高等学校弓道選抜大会県予選会 要項

- 1 主 催 群馬県高等学校体育連盟
- 2 主 管 群馬県高等学校体育連盟弓道専門部
- 3 開 催 日 令和 2年10月17日（土） 男子団体予選決勝・男子個人予選決勝
10月18日（日） 女子団体予選決勝・女子個人予選決勝
- 4 日 程 受付（選手1名＋顧問）-指定された時刻・監督会議-実施しない・開会式-実施しない
*大会競技役員は群馬県高体連弓道専門部強化部が行う。
*参加校への大会当番の割り振りはないが、自校行射中は看的小屋前に顧問は待機し、的前審判と自校的的中確認を行う。
- 5 会 場 渋川青翠高等学校弓道場 渋川市渋川3912番地1 電話0279-24-2320
- 6 競技種目 近的競技 的中制 直径36cm霰的（個人順位決定遠近競射では直径36cm線的を使用することがある）
- 7 競技種別 男子の部・女子の部
- 8 競技種類 団体戦…男女とも各校2チーム以内（各チーム正選手3名・補欠1名以内）
個人戦…男女とも団体戦の的中を個人戦の的中とする。（補欠戦は実施しない）
- 9 競技規則 全国高等学校体育連盟弓道競技規則・全国高等学校弓道大会競技運営細則による。
- 10 新型コロナウイルス対策 群馬県高等学校体育連盟作成の「新型コロナウイルス感染症に係る群馬県高体連主催事業大会等実施ガイドライン」に沿った対策を講じるとともに、細部については、各競技団体作成のガイドラインや群馬県作成の「新型コロナウイルス感染症に係る県主催イベント等開催ガイドライン」に準じた万全の対策を講じること。
- 11 競技方法 3人立 4射場 立射
団体戦 予選1・2回戦：1チーム24射（各自8射）を行い、上位16チームを通過とする。
団体戦 決勝1・2回戦：1チーム24射（各自8射）を行い予選の成績と合計し順位を決める。
*選手の交代は2回認める。第3控に入るまでに所定の用紙に記入し、監督が本部に届け出ること。
*団体選手が新型コロナウイルスに感染または濃厚接触者と特定された場合、もしくは37.0度以上の発熱がある場合のみ専門部に登録している選手との変更を認める。選手交代と同様に監督が本部に届け出る。
*団体戦に限り時間制限をおこなう。（5分30秒で予鈴、6分で本鈴、ベルと同時発射は失格）
個人戦 団体予選の個人合計の中で順位を決定する。
*出場権のかかる順位決定は射詰めとする。同中の場合は遠近競射（多人数の場合は複数的使用）で順位を決める。
*個人戦の射詰競射は4射の中が続いても結果が出ない場合は、八寸的（星的）を使用する。
- 12 競技順序 60名程度でグループを作成しグループごとに①～⑩の順序で競技を進める
①団体予選1回戦（1名みのチームはAB各団体のどちらかの最後に合同チームで引く）
②団体予選2回戦（1名みのチームはAB各団体のどちらかの最後に合同チームで引く）
③団体決勝進出16チームが決定しない場合の競射
④個人代表権決定射詰競射
⑤個人代表権以外決定遠近競射
⑥団体決勝1回戦
⑦団体決勝2回戦
⑧団体の順位決定
⑨閉会式・表彰式
⑩個人・団体の代表校監督会議
- 13 引率監督 団体戦の引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。（公立学校にあつては教員とする。）
個人戦の引率責任者は、校長の認める学校の職員とする。（公立学校にあつては教員とする。）
校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）も可とする。
→「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、事前に県高体連会長に届け出る。
監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。
- 14 参加資格 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
大会申込までに高体連弓道競技専門部に登録した生徒であること。
本年度在籍学年が第1学年・第2学年であること。同一学年での出場は1回限りとする。
転校後6ヶ月未満のものは参加を認めない。ただし、一家転住の場合は、特例として参加を認める。
参加選手は、日常的に健康状態を確認し、当日は「健康状態申告書」を提出すること。

- 15 大会中止条件 群馬県高等学校体育連盟作成の「新型コロナウイルス感染症に係る群馬県高体連主催事業大会等実施ガイドライン」の「2. 県高体連主催大会再開に当たっての基本的考え方」に示されている開催条件が整わない場合。
県内の感染状況に鑑みて、安全が確保できないと判断した場合。
その他、群馬県教育委員会又は群馬県高等学校体育連盟より大会の中止指示等があった場合。
- 16 表彰 男女ともに
団体1位 賞状・楯・梅山杯（持ち回り-前年度優勝校にレプリカ贈呈）
団体2位～3位 賞状・楯
団体4位 賞状（専門部の賞状）
個人1位～5位 賞状・トロフィー
*昨年度団体優勝校「男・市前橋」「女・前商」は梅山杯の返還をする。
- 17 代表権 男女ともに団体上位1校と個人1位～2位の選手に代表権が与えられる。
*全国選抜大会規模縮小実施により今年度は代表権が減少することがある。
*申込時に団体が既定の人数（3人立2人以上）を満たさない時は、上位大会団体代表権は認めない。
*上位大会への代表権が認められなくても表彰、参加料などにおいては団体扱いとする。
*第39回全国高等学校弓道選抜大会
令和2年12月24日（木）～12月26日（土） 於・岐阜県
*東日本県予選会が開催できない場合は上位3校に東日本大会の代表権が与えられる。
- 18 参加料 男女ともに1校2,000円（当日受けに払込むこと）
- 19 申込方法 ①申込ファイルに入力の上、10月8日（木）16:00（期限厳守）必着で下記宛メールする。
申込先 高体連弓道専門部 MAIL gunkyumi@yahoo.co.jp
②申込ファイルから出力した申込書に校長印を押印し10月12日必着で伊勢崎高校金山大弓宛に送付する。
- 20 プロ編成 10月13日（火）13:30より渋川青翠高校にて委員長・副委員長・常任委員により実施する。
- 21 注意事項 ①プログラムに記載された番号のゼッケンを右腰に付けること。
②引率責任者不在の場合は選手の参加は認めない。
③顧問の昼食については、大会申込ファイルで事前に申し込みをする。
④弓具には記名しておくことが望ましい。（忘れ物があった時は忘れ物コーナーに置いておく）
⑤蹠の紐は小さく結ぶ。妻手の留め具や紐幅が広い押手蹠、小指付根押手蹠、ゴム底足袋の使用は禁止する。
⑥追い越し発射は追い越した矢を無効とする。
⑦進行の「起立・始め」の号令は矢取り終了後にかける。
（制限時間がない個人戦、計時が参考となる団体戦は最後の射手が足踏みを閉じたら号令をかける）
⑧替矢・替弦は選手が持って入場し、介添えはつけない。（弦切れの場合は進行が弓を張る）
⑨服装などについては顧問総会の取り決めに従うものとする。
⑩応援は拍手のみとする。観客席では私語はしない。
⑪貴重品の管理は各自で行うこと。
⑫会場での飲食等ででたゴミは必ず持ち帰ること。
⑬選手・学校関係者以外の会場への入場は禁止する。
（保護者や本大会登録選手以外の部員も入場できない）
◎大会申込書の提出で、学校名・学年・氏名の個人情報の取り扱いについて、承諾を得たものとする。
大会プログラム・事務連絡文書の記載、大会プログラム・結果のWebページへの掲載に使用する。
※Web公開する大会プログラムにはパスワードを設定し関係者以外は見られないようにする。